

3. 留学生指導部門報告

(2007年4月～2008年3月)

出原節子

はじめに

留学生指導部門では、担当教員（出原）が以下のような業務を行っている。

1. 外国人留学生に対する修学・研究上、生活上及び異文化適応上の指導・助言
 2. 異文化教育及び日本語教育
 3. 留学生と日本人学生の相互理解，コミュニケーション能力を高めるための活動
 4. 海外留学に関する情報の提供及び留学相談
 5. 留学生活に関わる各種情報の提供，地域交流団体等が主催する行事の案内
- 小稿では、留学生指導部門が行った主な活動について、報告する。

1 指導・助言

2007年度は以下のように面談時間を設けたが、面談時間以外にも訪ねて来る学生がいるので、時間のある限り対応している。

< 2007年度前期面談時間 >

	1限	2限	3限	4限	5限
月	OH	OH	OH	OH	OH
火	OH				OH
水	OH	OH			
木	OH	OH	OH	OH	OH
金	OH	OH	OH	OH	

< 2007年度後期面談時間 >

	1限	2限	3限	4限	5限
月	OH	OH	OH	OH	
火	OH	OH	OH	OH	OH
水	OH	OH			
木	OH	OH	OH		
金	OH	OH	OH	OH	

指導部門に寄せられた様々な問題に対しては、留学生センター日本語教育部門教員及び非常勤講師をはじめ、各学部、留学支援室、学生支援課等と連携して対処した。

(1) 留学生に対する指導・助言

件数： 63件

(2) 日本人学生に対する指導・助言

件数： 25件

(3) その他（富山大学各学部の指導・助言教員，外部交流団体等からの相談）

件数： 11件

2 異文化理解・交流

(1) 「日本事情」

日本語研修コース「日本事情」の授業に、学内から募集した『国際交流学生ボランティア』に参加してもらい、留学生との合同授業を行っている。この授業は、①語学（主として日本語）能力の向上、②

日本人学生による留学生支援, ③異文化理解, ④自文化理解, ⑤異文化交流活動の拠点化, を目的としている。

(2) 見学

前期と後期に原則各1回, 日本語研修コースのフィールドトリップを実施している。同時に「富山大学短期留学生受入れ体制要項」に基づく短期留学生のためのスタディトリップも実施している。見学には日本人学生も希望があれば付き添いとして参加を認め, 異文化交流の場としている。2007年度も日本文化への理解を深めるため, 近隣の博物館等を見学した。

・フィールドトリップ&スタディトリップ (前期)

<実施日・見学場所>

2007年6月1日(金) 富山市民俗民芸村・五百羅漢

<参加者数>

留学生 7人

日本人学生 2人

・フィールドトリップ&スタディトリップ (後期)

<実施日・見学場所>

2007年11月30日(金) 富山市民俗民芸村・五百羅漢

<参加者数>

留学生 11人

日本人学生 1人

(3) ホームステイ

財団法人とやま国際センターの斡旋により, 1999年度後期より留学生センター所属の文部科学省国費留学生(予備教育生)に対し1泊2日のホームステイ・プログラムを実施している。

<実施日・参加者数>

2007年7月28日(土)～29日(日) 1人(16期生)

なお, 17期生は国費留学生の配置がなかったため, ホームステイは行わなかった。

(4) ホームビジット

日本語研修コースには, 文部科学省からの国費留学生だけでなく, 学内公募による受講生を受け入れている。「留学生センター在籍者ホームステイ実施要項」制定時には, 学内公募の学生がいなかったため, これらの学生はホームステイ・プログラムの対象者に含まれていない。そこで, 富山市民国際交流協会の協力により, 学内公募の学生を対象とした1日家庭訪問プログラムを2002年度前期より実施している。

<実施日・参加者数>

2007年7月28日(土) 2人(16期生)

2008年1月26日(土) 6人(17期生)

(5) 異文化交流パーティー

留学生と日本人学生の交流を目的としたパーティーを春と秋の年2回, 留学生センターの談話室で開催し, 200円の参加費で, スナック菓子と飲物を用意している。

<実施日・参加者数>

2007年5月23日（水）17：00～ 44人

2007年11月28日（水）17：00～ 21人

(6) おしゃべりタイム

毎週木曜日の12：00～13：00に留学生センターの談話室で「おしゃべりタイム」を開催し、留学生と日本人学生が昼食を食べながら語り合う時間を設けているが、木曜日以外にも留学生と日本人学生が昼食を共にしている姿がみられる。

(7) 異文化理解教育等への協力

県内の教育機関で行われている異文化理解教育や市・町・村主催の国際交流行事、地域の各種団体等が主催する行事等に参加依頼・協力依頼があった場合は、その要請に応じて、都合のつく留学生の派遣を行っている。

- ・富山大学人間発達科学部附属小学校ふたば会主催「交流まつり」ボランティア協力
(10月28日) 11人
- ・国際ソロプチミスト富山主催「ミニ・フォーラム」参加(11月24日) 2人

3 各種情報の提供

全学の留学生を対象に、留学生活に関わる情報を提供し、地域の交流団体等が主催する行事等の案内を留学生センターの談話室に掲示している。

国際交流団体および行事内容については「外国人留学生関係行事一覧」を参照していただきたい。

4 オリエンテーション

(1) 学部新入留学生のためのオリエンテーション

学部教員や留学支援室、学生支援課等の協力により、前期の授業開始日前に、全学のオリエンテーションとは別に、学部新入留学生を対象としたオリエンテーションを実施している。オリエンテーション終了後には、先輩学生の協力を得て、「前期時間割」を作成し、更に、留学生指導部門担当教員が留学生センターの施設案内をしている。

<実施日時>

2007年4月10日（火）17：00～

<オリエンテーションの内容>

- ・教職員の紹介
- ・留学生センター及びその他の施設について
- ・留学支援室及び学生支援課職員による所掌事項について（奨学金、授業料免除、アルバイト等）
- ・危機管理について（各種保険等）
- ・教養科目履修について

(2) 新規来日非正規生（研究生、科目等履修生、特別聴講学生）のためのオリエンテーション

<実施日時・参加者数>

2007年4月16日（月） 7人

2007年10月15日（月） 9人

<オリエンテーションの内容>

- ・学内・学外における諸手続きについて

- ・留学生センターについて
- ・学生生活について
- ・危機管理について

(3) 平成17年度外国人留学生（新入生）合宿研修

この研修は学務部留学支援室の主催で行われ、留学生センターからは指導部門担当教員が参加した。

<実施日>

2007年5月12日（土）～13日（日）（1泊2日）

<実施場所>

富山県南砺市利賀村 スターフォレスト利賀

<参加者>

- ・学部新入留学生
- ・在日留学生
- ・人文学部教員
- ・経済学部教員
- ・工学部教員
- ・留学生センター教員
- ・留学支援室職員

<研修の内容>

- ・大学生生活の心得について
- ・チューター制度について
- ・留学生生活における問題の解決法・地域との交流について
- ・各種奨学金、アルバイト、授業料免除制度について
- ・福利厚生について
- ・ガイドブック事項説明
- ・質疑応答

5 海外留学相談

留学生センターの1階に『留学情報資料室』を設置し、海外留学を希望する学生に情報の提供を行うとともに、留学生指導部門担当教員が留学の相談にのっている。

面談回数： 33 回

相談者数： 19 人

理学部 4 人

人間発達科学部 4 人

人文学部 5 人

経済学部 5 人（中国人留学生1人含む）

医学部 1 人

計 19人

希望留学先：米国，英国，カナダ，スウェーデン，韓国，オーストラリア，ドイツ

なお、7月11日に実施された留学を希望する学生を対象とした「留学説明会」において、留学に関する指導・助言を行った。

6 その他

(1) 富山大学留学生教育指導連絡会議

2002年9月24日に「富山大学留学生指導連絡会議要項」を制定し、以来留学生指導等の充実を図るために連絡会議を開催し、留学生に関する様々な問題について各学部の教員及び事務との情報交換・意見交換を行って来たが、2006年7月21日に「富山大学留学生教育指導連絡会議」として再スタートし、引き続き留学生の教育及び生活指導等の充実を図ることを目的に、各学部や留学支援室と連携して会議を開催して情報・意見の交換、収集を行った。

<開催日>

2007年9月28日（金）

2008年3月4日（火）

(2) ホームビジット・プログラム

全学の学生を対象とした1日家庭訪問プログラムを「言語交流研究所ヒップファミリークラブ」の協力により実施した。

<実施日・参加者数>

2007年8月6日（月） 7人

(3) 富山県留学生等交流推進会議総会座談会

毎年1回開催される富山県留学生等交流推進会議総会の後に開催される「留学生との座談会」の司会を数年に亘り依頼されており、2007年度も依頼された。座談会の進行を円滑に進めるため、事前に、県内の各高等教育機関（富山大学・富山県立大学・高岡法科大学・富山国際大学・富山工業高等専門学校）から参加者として選ばれた留学生と面談をし、発表内容の確認、アドバイス等を行った。

<開催日>

2007年11月14日（水）

おわりに

2007年5月現在、富山大学には328人の外国人留学生が在籍している。そのうち、五福キャンパスには273人が在籍している。

富山県では、県内在住の大学等の私費留学生（学部1年生と大学院生は全員。学部2～4年生は、学業成績が上位10%以内の学生）に対し、県から「富山県国際交流奨学金」として1万円（年間12万円）が支給されている。また、国民健康保険料の助成もおこなわれている。さらに、2002年10月より財団法人とやま国際センターが、富山県、富山県婦翔会、留学生を受け入れる富山県内の大学・短大・高専、宅地建物取引業の団体などの連携協力のもとに、「留学生住宅確保支援制度」を実施している。こうした地域の人々の暖かい支援により、留学生がより安定した居住環境の中で安心して留学生活を送ることができるようになり、大変感謝している。

これからも地域との緊密な連携をはかり、留学生支援体制の充実のため一層の努力をしていきたい。